

令和7年度 揖斐郡学校環境衛生活動 特集号

令和7年度「揖斐郡学校環境衛生調査」について6月27日（金）に一次審査（書面審査）、7月10日（木）・11日（金）に二次審査（実地調査）を実施しました。

（1）揖斐郡学校環境衛生調査の目的

揖斐郡学校環境衛生調査は、

健全な子どもの育成を目指す環境衛生活動の充実を図るため、その実態を把握するとともに、学校及び地域社会の環境衛生への認識を深める

ことを目的に、実施しています。

（2）令和7年度の審査で大切にしたこと

令和7年度の学校環境衛生活動の審査では、特に

- 自らの命を守る児童の主体的な環境づくりの各校の実践のよさを郡内に広めていく。
- 学校環境衛生調査は郡内のどの学校でも基準に基づき実施されるようになってきているので、さらに環境衛生調査の質的な向上を目指す。

こうした学校環境衛生の取組が行われているかを重点に審査を実施しました。

（3）学校環境衛生調査の調査方法

① 一次審査（書面審査） 6月27日（金）

県学校保健会のインターネット調査にデータ入力したファイルを、揖斐郡学校保健会事務局に送付し、送付された各校のデータの採点集計結果・当該年度の揖斐郡重点項目の取組状況及び各校より送付された「自校における学校環境衛生活動の取組の成果・課題と今後の活動への工夫や改善点」・「自校の学校環境衛生活動のPR」をもとに文書審査を行い、4校の優秀賞校（最優秀賞候補）を決定しました。

② 二次審査（実地審査） 7月10日（木）・11日（金）

一次審査で選出された学校を郡薬剤師会会長、郡学校保健会担当校長（郡学校保健会担当校長、郡養護教諭部会顧問校長）、郡学校保健会事務局が訪問して二次審査（実地審査）を実施し、定期検査・日常点検・臨時検査の実施・児童生徒の活用状況等を審査基準に基づき評価しました。



（4）各賞の受賞校選定方法

令和7年度揖斐郡学校環境衛生調査による表彰校を次のように決定しました。

- 1次審査会で選出された学校は「郡優秀校」とする。
- 優秀校のうち2次審査会で最優秀とされた学校を、「郡最優秀校」とする。

その結果、令和7年度の揖斐郡環境衛生活動の表彰校が次のように決定しました。

最優秀校（1校）： 大野町立南小学校

**優秀校（3校）： 揖斐川町立小島小学校 池田町立八幡小学校
揖斐川町立谷汲中学校**

特選校（2校）： 大野町立大野中学校 池田町立温知小学校

6校は7月30日の郡学校保健研修総会で表彰

※令和5年度に最優秀校に選出された大野中学校は令和6年度・令和7年度の特選校に、令和7年度最優秀賞の温知小学校は令和7年度・令和8年度の特選校に、また本年度最優秀校に選出された南小学校は令和8年度・令和9年度の特選校に無審査で選出されます。

（特選校も郡学校環境衛生活動審査の文書は提出していただきます）

☆ 郡学校環境衛生調査では表彰校や学校環境についての優れた実践を郡内に広め、揖斐郡の学校環境衛生の充実を図ることを目的としています。

☆ 本「揖斐郡学校保健だより」は各校に送付するとともに、7月30日の郡学校保健研修総会の参加者にリーフレットと合わせて配付いたします。また「揖斐郡学校保健会ホームページ」にもアップしますので自校の学校環境衛生活動の向上にご活用ください。

揖斐郡学校保健会ホームページ

<http://www.ikedanet.jp/hokenkai/>

(5) 令和7年度 最優秀校・優秀校のよさ及び郡内に広げたい取組

各学校の学校環境の取組のよさ・他校にも取り入れてほしい点・改善すると一層よくなる点	
南小 最優秀賞	● ボランティア精神が児童に浸透しており、生き生きと活動している。 ● ボランティア掃除等、学校の環境衛生に積極的に取り組む児童が多く、今までの指導がよくいきわたっている。 ● 養護教諭の先生の環境衛生に対する意識の高さがうかがえる。（曇りの日に照度を図る、水質検査の質を見直している、うるさいと感じたら騒音調査を行う等） ● 保健指導が位置づいており、換気の大切さ、熱中症予防等、児童が正しい知識を得て、児童自らが命を守ったり、予防したりするための取組がなされている。 ● 検査の回数だけでなく検査の質に注目して改善に取り組むことで高まりにつながっている。 ● 美化委員会のプレゼンに見られるように、整備されたネット環境を生かした環境改善のための働きかけが有効に行われている。 ● 学校環境の各調査のレベルアップや学校独自の工夫を行うなど学校環境改善につながる生きた調査が行われている。 ● 健康委員会によるキャンペーンやボランティアカードの活用など、児童の手による調査をもとにした環境改善や家庭と連携した取組がなされている。 ● 養護教諭を中心に学校環境衛生調査の一つ一つが丁寧になされるとともに、児童への励ましや評価がきちんと記載され、児童に還元されている。 ● 課題を設定した上で効果の検証を行うなど、多面的な視点や再現性を大切にしたい調査や取組がなされ、確実に成果につながっている。
小島小 優秀賞	● 保健日誌の備考欄に毎日の熱中症指数がきちんと記載されている。 ● 掃除の仕方を動画で示し、全校で環境衛生に気を付けようとしていることが分かる。 ● 教室の入口に半円に色塗られた場所があり、飛び出さない指導がなされている。また、トイレ支援の必要な子のために取手部分や便器の前に台を置くなどの配慮がなされている。 ● 美化委員会によるごみ集め、ごみの捨て方、スリッパ点検等、委員が自ら考え、全校に広めていく取組がなされている。 ● Teamsによる映像を伴うキャンペーン動画など、ICT機器を活用して子供たちの取組を高める工夫がなされている。 ● WBGTの数値からの自己判断、環境衛生に関わるうちの活用、キャンペーン動画の作成など児童自ら環境について考える工夫がなされている。
八幡小 優秀賞	● 昨年度郡内で取り組まれた他校のよさを取り入れたり、町の方針を踏まえたりしながら、自校の学校環境衛生の向上につなげていこうとする取組が随所に見られ、経年の取組の成果が子どもの姿や職員の意識にあらわれている。 ● 組織的な取組がなされ、子どもの自覚を促す工夫があり、環境衛生改善に向けての指導者の熱意が感じられた。 ● 熱中症対策として自分たちの目で見て確認したり、予測、数値が入るようにしたりするなどの工夫があり、児童の姿や意識の高まりにつながっている。 ● 縦割掃除等下学年が高学年の姿に学ぶ活動や、掃除でのよい姿を全校に広げていく工夫がなされている。 ● 保健委員会をはじめ委員会の活動や委員長の思いや願いを動画等で全校に伝えたり、視覚的に訴えたり、触れたりすることができる掲示物を作成したりすることでどの学年の児童にもわかりやすい働きかけの工夫ができている。 ● プレゼン資料をもとにした学校環境衛生に関する職員研修が実施されている。
谷汲中 優秀賞	● 日常点検表の項目で×になるものは改善し、○として記録するようにしている。 ● 点検するものをファイルごとに整理し、きちんと記録してある。 ● 小中合同掃除に向けて中学校だけの掃除の取組が生徒たちの提案から行われており、生徒の中に環境衛生に気を付ける意識がある。 ● 学校保健委員会の資料に生徒が取り組んだ内容を記録としてまとめられている。 ● 健康貯金や小中交流など学校の強みを生かした独自の取組が行われている。 ● 危険予知など子どもたちが自分で考え、行動する工夫がなされている。 ● 衛生環境を通して子どもたちを育てる姿勢があり、検査の一つ一つが丁寧に記載され、確実に保存されている。 ● 危険予測やそれに伴う適切な措置など、指導とあわせて学校としての環境衛生に対する態勢づくりが行われている。
総評	<よかった点・各学校で取り入れていくとよい点> ● 養護教諭の先生を中心にして、どの学校でも毎日きちんと点検が行われている。 ● 薬剤師の先生との連携を密にした改善や、担当者がリーダーシップを発揮してPDCAを動かしている取組が見られた。 ● 動画と高学年から下学年への指導が組み合わされた改善の取組が、どの学校でも見られた。 ● 組織的な取組、経年の取組で子どもに確実に成果が還元されている。 <さらによくしていくための改善の視点>

- ★学校環境衛生調査で×のついた項目については、×の内容の改善する取組を行い、○にするまで取り組み、必ず全部○にしておくようにするとよい。
- ★学校環境衛生調査の質的な向上のために、検査方法の工夫や検査の考察と活用等、学校の実態に応じて改善工夫をどの学校でも行っていくとよい。
- ★郡学校保健会として日常点検表や薬品管理記録簿等の統一等、郡としての学校環境衛生活動の向上への働きかけを行っていく必要がある。

(※優秀賞の3校は学番順に記載)

(6) 郡内に広げていきたい郡内各小中学校の学校環境に対する取組の成果及びPRポイント

各学校では次のような学校環境衛生活動に関する取組がなされ、成果を上げています。それぞれの学校の取組のよさに学び、自校の取組の改善に生かすことで郡全体の学校環境衛生活動の向上につなげていけるとよいと思います。

各校の学校環境衛生活動のPRポイントと成果や取組の工夫

	自校の学校環境衛生活動のPR	取組の成果・課題と今後へ工夫・改善点
揖斐小	・児童環境委員会が中心となり、快適な学校環境を保つため、草取りボランティアやごみの分別収集を行っている。草取りボランティアは毎年多くの児童が自主的に参加し、快適に過ごすことができるように活動している。 ・掃除は縦割り班で行っており、高学年が低学年に揖斐小の掃除の仕方を教えながら、低学年は高学年の姿から学びながら、仲間と協力して掃除を進めている。	・教室環境の日常点検は、児童の係として位置付けしており、毎朝各学級で実施している。不具合箇所があるときは、その場で環境を整えるようにしているが、さらに記録として残るように改善している。 ・児童一人一人が、教室環境を気に留め、自ら気付く目を育てていくことができるように、担任や児童が所属する健康委員会からの働きかけの工夫をしていきたい。
大和小	・トイレのスリッパ整頓について、児童健康委員会が呼びかけをするだけでなく、学級の課題として取り組む学年もあり、誰もが気持ちよく使えるトイレになるように活動を行っている。今後も全校が自発的にスリッパ整頓ができるような活動を計画していきたい。 ・児童環境委員会による大掃除週間の取組は、毎日の取組重点箇所を設定して啓発したり、全校で学校をきれいにしていると実感できるような掲示物を作成したりするなど、どの学年も積極的に取り組むことができるよう活動を工夫している。	・環境衛生検査について、昨年度よりも不十分であった検査項目を減らすことができた。 ・しかし、適切な検査回数を満たしていない項目もあるため、学校薬剤師と連携し、計画に基づいた検査の確実な実施に努める。 ・また、養護教諭だけでも確実に検査ができるよう、検査方法について学校薬剤師から指導を受けながら実施していきたい。
北方小	・児童が健康で安全に生活していくために、学校薬剤師と協力し、定期検査・日常点検を確実に行うとともに、全校・全職員で学校環境衛生活動に努めている。	<成果> ・日常点検では、各学級において毎授業日の気温・湿度の測定を記入を行い、夏季には熱中症予防、冬季には感染症の予防について、児童・教職員で意識し取り組んだ。 ・夏季にはW B G Tの測定を、休み時間・体育時間・外での活動時間前に測定を実施し、外遊びや体育の中止、運動会練習の時間短縮の判断材料に活用でき、熱中症を未然に防ぐことができた。 ・冬季には、さまざまな感染症予防に向けて、加湿器の活用・換気の励行を児童・教職員に周知し、適切な環境保持に努めた。 ・児童環境委員会では、週1回ゴミ回収を行い、学校の清潔に努めている。 <課題> ・定期検査の結果について学校薬剤師から自校の課題について助言を受けながら、よりよい学校環境衛生が保てるよう全職員で周知し、意識の高揚を図る。
清水小	・朝、職員や日直(職員)が全館廊下の換気を行い、校内全体の空気を入れ替えることで、児童が活動しやすい環境をつくっている。 ・環境点検表を用いて、児童も当事者意識をもって教室の環境を整えている。 ・担任や養護教諭も見届けを行い、朝から整った環境で活動することができるようにしている。 ・清掃活動中、教職員が巡回し、適切な掃除道具の使い方や掃除の方法について助	【成果と課題】 ・飲料水の検査では、どの項目も基準値に適合し、児童は1年間安全な水を飲んだり使用したりすることができた。 ・教室の換気・保温や採光・照度の検査を行うことで、児童が適切な環境で活動できているかどうか把握することができた。 ・音楽室のホルムアルデヒドの量が、昨年度よりも基準値を満たすようになったのを確認することができた。 ・教室によっては、暑い時期や耐震構造上、

	言・指導を行うとともに、一緒に清掃活動を行うことで、清潔な環境で生活することができるようにしている。	気温や照度の基準値を満たさなかったところがあった。 【工夫や改善点】 ・定期検査・日常検査を行う場所以外の水道水についても、校舎のどこの飲料水も安全に使用できるように、長期休暇明けの水質検査を引き続き行う。 ・児童が活動する教室が常に適切な環境であるように、どの教室でも、暑い時期には早めに冷房をつけたり、保冷の工夫を行ったりすることや、耐震構造上照度が低い教室では、照度を考慮した環境づくりや改善策を提案していくことなど、学校薬剤師の助言を生かした環境整備を行っていく。 ・音楽室のホルムアルデヒドの量が「基準値の1/2以下」ではないため、音楽室を使用する際にはこれからも換気をよく行うようにする。
小島小	・時期に合った調査を学校薬剤師の先生とともに、正確に調査をし、異常があった場合には迅速に対応できるように連携を密にとるように心がけている。 ・また、毎日の教室における環境検査のチェックを担当のチェックだけで終わらせず、養護教諭が毎朝確認するように努めている。	・環境衛生活動の取組においては、学校薬剤師の先生をはじめ、学校全体で取り組むことができた。 ・毎日の教室における環境検査や、学期末に行われる大掃除など、教職員一丸となり、衛生活動に努めた。 ・課題として、学校保健委員会が年に2回開催しているが、学校医の先生方と連携して地域に合わせた取組ができていないため、来年度は学期末の3回開催を目標に児童の特性に合わせた取組を行う。
谷汲小	・本校は、運動場の草が生い茂ることや、降雪時の校庭内の除雪が大変であることも課題であった。児童がボランティアを募ったところ、多くの児童が積極的に参加し、教師と一緒に楽しそうに活動した。 ・「自分たちの学校を美しくしたい、過ごしやすいしたい」という気持ちが高まり、姿になっている。 ・また、中学校と連携し、掃除について交流を行っているが、今年度は谷汲中学校生が谷汲小学校に來校して、縦割り活動として一緒に掃除をした。 ・小学生にとっては、中学生たちが、自分たちに対して、掃除の方法を丁寧に指導したり手本を示したりする姿が、憧れや目指す姿となり、よい経験となった。その後、教えてもらったことを日々の清掃に生かすことができている。こういった交流を今後も大切にしていきたい。	・児童が安心・安全で、心身共に健やかな学校生活を送るためには、日々の環境衛生活動の充実や児童一人一人の環境衛生に対する意識を変えていくことが大切であると考え、整理整頓の日を設けて、自分の身の回りを整頓したり、学習環境を見直したりする時間を設け、美しい環境が落ち着いた生活を作り出すことを体感させながら指導している。 ・日常の清掃活動については、児童の人数が少なく、担当する掃除場所が広範囲のため、十分にきれいにできないことが課題であった。そのため、効率のよい道具を使用したり、掃除の方法について中学生と交流したりして、掃除のスキルアップを図った。少しずつ児童の掃除が上達し、校舎内が美しくなるとともに、児童の「自分たちの学校を美しくする」という意識が高まっている。 ・今後は、学期ごとのアンケート調査をもとに活動内容を評価し、さらに検討して、学校の環境を自分たちでよりよくしていくことができるよう活動を推進していく。
大野小	・教室の日常点検について、毎日、朝の会時に位置付け、学習や健康に適している、児童・担任で確認している。 ・児童保健委員会が、毎朝、校内の水道場の石けん補充や清掃を行い、清潔を心がけている。	・各教室に二酸化炭素濃度測定器を設置し、濃度について職員・児童が意識をし、換気に気を付けるようにしている。また、1日2回、児童委員会が全校放送し、窓を開け、換気を徹底している→定期の検査結果では、二酸化炭素濃度は基準を超すことはなかった。 ・照度検査については、雨天時に実施し、基準を満たさない箇所について、担任に伝え、学習・活動に配慮するようにしている。また、結果を学校保健安全委員会に報告し、検討した。→7年度、LEDに交換予定。 ・特別支援学級の教室にある畳に、基準を超えるダニが検出されたため、こまめに掃除機で掃除をするようにしている。
北小	・学校の教育目標具現のための3本柱の1つに「もくもく掃除」を位置付けている。学校全体で、取り組み期間を設定したり、発達段階に応じた目標をたてたりして、一人一人が美しい環境づくりに努めた。その結果、隅々まで美しくなるように黙々と掃除をする姿が多く見られるよう	・学校環境について、児童に身近なものとして捉えることができるように、毎日の気温・湿度・水質検査結果などの環境衛生検査結果を目に触れるところに掲示している。また、熱中症対策が必要な時期には、熱中症指数に関わる情報を全校に知らせている。そのことにより、高学年児童は、

	になり、気持ちのよい環境づくりができた。 児童に地球規模の環境への意識を高めるために、アルミ缶や牛乳パック回収、運動場の草取りなど、委員会活動やボランティア活動を通してSDGsの視点での活動を行った。	自分の健康は自分で守るという意識を高めることができています。 - 昨年度、全教室に二酸化炭素チェッカーと加湿器付き空気清浄機を設置した。年間を通じて、換気と二酸化炭素濃度と室内温度・湿度のバランスをとるために、毎授業時間ごとに二酸化炭素チェッカーの数値に着目して、換気を行い、気持ちの良い学習環境づくりを行っている。 - 二酸化炭素チェッカーを設置したため、二酸化炭素の定期の検査を1回にしたが、学校薬剤師の先生からのご指導で、定期検査は2回実施することと毎朝の二酸化炭素チェッカーの値を記録することにした。 - プールの管理について、日常の点検が記録されていなかったので、記録するようにした。
西小	- 児童が行う委員会において、子どもたち自ら感染症対策につながる行動ができるような活動に取り組んだ。特に、感染症が流行する時期の前には、11・12月「正しい手洗いをしよう」、1・2月「風邪を予防しよう」という健康安全目標に合わせて児童集会で啓発した。 - 具体的には、児童自身で工夫して実験を行い、手洗いについての動画を作成した。実験では、手洗いチェッカーを使って手に付いたウイルスを見る実験や、ピンクの絵の具を石鹸の泡に見立てて泡の広がり方を見る実験を行った。 - この活動には、全校の児童が手洗いの大切さを知り、正しく丁寧に手洗いができるようになってほしいという児童の思いが込められている。	児童主体の委員会では、水質検査、手洗い場の清潔、トイレの清潔、石鹸補充、教室の環境衛生調べ（温度、湿度、換気、清掃状況、明るさ、黒板、空気）ハンカチ調べ、換気調べ、掃除点検、掃除道具の点検、手洗いに関する児童集会などの活動を行った。これらの活動を中心として、学校全体で学校環境衛生のための行動につなげることができた。
中小	- 本校では、児童健康委員会が中心となり、学校環境衛生活動に取り組んでいる。毎日の教室環境調べの結果と水質検査の結果をホワイトボードに記入し、全校への啓発活動を行っている。また、教室環境調べて△がついたクラスには警告メッセージを送るなどの活動を行った。 - さらに、学校薬剤師の指導の下、学校衛生活動（水質検査と教室の環境調べ）に関する調べ学習を行い、全校に発表を行っている。	朝の会における毎日の教室環境調べにおいて、全部〇にできなかったクラスがあった。健康委員会の取り組みとして、できなかったクラスへの呼びかけや、できたクラス数のお知らせなどの全校への啓発活動を強化し、きれいな学校環境を保つための意識づけをしていきたい。
南小	児童会活動がより主体的な取組になることを目指している。特に、環境美化委員や健康委員を中心に、衛生的な生活習慣づくりや、感染症予防等にも力を入れて取り組んできている。	「気持ちのよい教室」にするために、各学級で換気・机・ロッカー・明るさ等の点検を児童全員で行い、よりよい環境づくりへの意識が高まってきている。 - 委員会児童を中心に、環境衛生に関わるボランティアの実施やキャンペーンを通して全校でよりよい生活ができるよう取り組むことで、積極的に環境を整えようとする姿が増えつつある。 - 健康教育や性に関する指導を通して、身の回りを清潔に保ち、安全に生活できるとともに感染症予防ができるよう家庭と連携しながら、実践につなげた。継続して実践できるよう、定期的に見届けや指導を行っていききたい。
東小	- 通常の清掃活動の時間のみでなく、ボランティア活動で校庭の整備や校舎内の清掃を実施しており、今後も環境衛生活動を継続していく。 - 地域の方々とボランティアで清掃活動を実施している。	- 健康づくり委員会の常時活動で毎授業日の水質検査やトイレの手洗い場点検を実施している。 - 委員会活動で、大掃除週間を設定し、掃除ポイントを決めて活動している。
温知小	- 熱中症対策で、休み時間に全校放送で、教室の換気や水分補給、手洗いについて呼びかけをした。児童が自ら確認出来るよう、玄関に熱中症指数を張り出すことで、熱中症予防の意識を高めた。 - 計画委員会では、全校に働きかけて、ボランティア活動として、運動場花壇や中庭の草取り（1学期3回）を行った。冬には、	<成果> - 黒板面の摩擦については、張り替えの予算要望を提出。町の方で検討中である。 - 環境衛生に関わって、検査器具がかなり古いものがあったため、購入の要望を町へ提出した。 <課題> - 給排水系統図を、もっと分かりやすく、最

	- 落葉拾いを行った。 ・整美委員会では、年3回、長期休み前の大掃除週間には、掃除重点場所を委員会で毎日放送して、隅々まできれいにすることの意識を高めている。	- 新版に変更しなければならない。 ・理科室の冷蔵庫に鍵を取り付ける。
八幡小	・子どもたちから、「〇年生が使用するトイレが汚くて困っている。」など、環境衛生に関わる課題を、積極的に発言できる環境がある。 ・職員からも、「児童が授業中の発表時以外の声の大きさなどについて意識させたいが、どのように指導したら良いか」など、課題を共有し解決しようとする姿勢がある。	・5年度末、児童数減少に伴い、6年度からの委員会数を、10から8に減らした。その際、児童保健委員会の常時活動の内、石けん容器の洗浄と石けん液の補充、手洗い場・トイレの点検活動を、整美委員会に変更した。 ・しかし、手洗いの呼びかけを強化したら、石けん液の減りが早くなったなど、活動のつながりが分かりにくくなるなどの課題ができた。そのため、7年度からは再度仕事内容を見直した。 ・毎年職員からも児童からも積極的に意見が出され、活動内容などが見直されている。
宮地小	・小規模校の強みを生かし、全校での清掃活動や愛校活動など、全ての児童が環境衛生活動に関わることができている。	・児童数が少ないため、1人あたりの清掃場所の役割が大きい。そこで限られた時間や人数でも質の高い掃除で校内の清潔を保てるよう、「だまって掃除・時間いっぱい掃除・ぴかぴか掃除」ができるよう全教職員で指導に取り組んだ。また、児童生活委員会が正しい掃除の仕方について動画を作成し、呼びかけを行った。今後は、さらに実用性の高い動画となるよう、内容を検討していきたい。 ・運動場に草が生えやすい、広葉樹の落ち葉が多いという課題があった。そのため、全校で週1回休み時間に愛校活動として草取りや落ち葉拾いを実施し、運動場の環境を整えることができた。子供たちが主体的に活動に参加する様子も見られ、今後も継続して実施したい。
池田小	・環境衛生検査の結果を受けて、改善すべきことは迅速に教職員に周知している。 ・環境衛生検査の結果を受けて、児童の学習環境を整備するための改修工事を実施した。 ・薬剤師からも積極的に町へ要望した。	・教室環境の改善（採光及び照明） 10月に実施した検査において、特別教室の照度が基準を満たしていないことがわかった。各教室は改修工事を実施し、照明もLEDになっているため照度があるが、特別教室は改修工事を実施していないため、施設が老朽化している。今回の検査でも照度が基準値未満であることがわかったため改修工事をし理科室の照明がLEDになった。
養基小	・保健給食委員会の児童が、毎朝、気温・湿度の測定と水質検査を実施し、掲示板への記録、お昼の放送で紹介をしている。	・学校環境衛生検査の計画一覧表を使用し、計画的に実施ができた。 ・一部の検査項目は、基準値を超えていたため、安全に使用できるように対策を講じていきたい。
揖斐川中	・環境衛生活動を健康委員会のみで行うのではなく、環境委員会や生徒会執行部、また文芸部の活動で取り組み、生徒自身が「自分たちで行う健康づくり」の意識を高めて活動した。 - 主な活動 ・環境委員会…掃除計画会の実施「ひたむき掃除」の取り組みや掃除時間の生徒のよい姿の画像掲示、放送による紹介等 ・健康委員会…健康づくりに関するイラスト募集と回収、「パワー貯金」の取組 熱中症・感染症予防の呼びかけ、手洗い啓発動画の作成と紹介、手洗い実験体験の全クラス実施、CO2測定、照度測定等 ・生徒会執行部…「揖斐川中学校の伝統」における環境・健康づくりを位置づけた取組の計画や見届け ・文芸部（部活動）…換気の呼びかけ等ポスター制作	・「揖斐川中学校の伝統」に「ひたむき掃除」を位置づけ、4月に掃除の仕方を全校に動画で紹介した。各掃除場所が決まる度に、生徒主体で計画会を行い、分担や掃除方法を確認した。単なる清掃活動ではなく、自分たちが使う場所を、仲間と一緒に美しく維持するためにどうするとよいかを考えたり、掃除でのよい姿を委員が全校に放送で紹介したりした。また、後期は掃除担当者の形態を、学級別から異学年合同の縦割り班に変えて行った。このことで、揖斐川中学校の掃除に関する伝統を上級生から下級生に伝えることができたことが成果の一つとなった。 ・健康委員会は、「自らの手で健康に過ごし安全な学校生活を送れる揖斐川中学校」をスローガンに活動をした。年間を通じて、毎月3日ずつ健康について自分の生活を振り返る「パワー貯金」を実施し、熱中症や感染症の予防に取り組んだ。この結果、9月の体育大会では、体調不良による欠席者は0人であった。また、後期は、「30秒手洗い」をキーワードに感染症予防に取り組んだ。健康委員の生徒が、ブ

		ラックライトを用いた手洗いの実験を動画に編集し、全校生徒で視聴した。その後、同じ実験を全校生徒が体験できるように各クラスにキットを準備した。成果は、30秒間の手洗いの意識が高まったことと、令和6年度は、感染症による学級閉鎖がなかったことである。
北和中	自己管理のできる生徒の育成を目指して様々な活動に取り組んでる。その活動の一つとして、生徒会の委員会活動に力を入れている。全校が活動に取り組むために、換気やロッカーの整理、空き教室の美化に取り組んでいる。	- 本年度も昨年度と同様に、学校薬剤師と連携をして、ほぼすべての項目の環境衛生検査を実施することができた。 - 昨年度からの改善点も、職員と生徒が心がけをして改善されていた項目があった。 - 学校全体の掃除の意識が低いので高めていきたい。
谷汲中	- 誰もが気持ちよく過ごせる環境づくりのために、本校の生徒会では清掃活動に力を入れている。「止めばき・角ぶき・黙働掃除」を重視しており、2学期には、中学生が谷汲小学校へ行き、小学生と一緒に掃除を行った。 - 中学生が小学生の横について丁寧に教えながら黙々と掃除をする姿がみられ、お互いにとって刺激になり、掃除の在り方について見直す機会になった。令和7年度も同様に、小中の掃除の交流を行い、快適な環境づくりに努めていきたい。	- 生徒や職員が安心・安全に過ごせるように、校内の環境点検を行い、破損や異常箇所がみられた場合、改善に努めた。また、改善が難しい場合は、業者に対応を依頼することができた。美しい環境を保持できるように、毎日の掃除でも、すみずみまできれいに行っている。 - 環境衛生検査で基準値を超えている項目については、学校薬剤師に指導を仰ぎ、改善方法について全職員に共通理解を図った。今後の活動として、生徒がより主体的に快適な環境づくりができるように、環境委員会の活動について今年度の取組を検討していきたい。
大野中	換気のルールやエアコン使用時の適正温度、ロッカーや机列の整頓等、目で見て分かるように写真等を使用して掲示をし、生徒自らが考え判断して行動できるようにしている。	- 熱中症予防のため、学校独自のガイドラインを作成して学校保健安全委員会で検討し、全職員に周知したり、携帯用の熱中症指数計を購入したりして、平日の活動や休日の部活動で予防が確実に行えるようにした。また、生徒会保健委員会の生徒が毎日、朝と昼に熱中症指数を測定し、掲示をしたり放送したりして予防の啓発を行った。 - 冬期には、換気のルールやエアコン使用時の適正温度等を掲示したり、CO2モニターを設置したり、常時開放しておく窓に印を貼ったりすることで、生徒自らが判断して換気をする等、感染症予防のための行動を取ることができるようにした。 - 空き教室の環境整備のため、ロッカーや机列の整え方を写真で掲示したり、職員による空き教室チェックを行ったりした。
揖東中	生徒環境委員会が大掃除を計画して行っている。また、掃除時間には、計画会と反省会を位置付けてカードを使用して振り返りをしている。	- エアコン使用時の換気方法や、感染症流行時の消毒など、学校薬剤師に相談し連携しながら行っている。指導されたことを、保健委員会の生徒が呼びかけ、ルールが定着した。 - また、その活動もあり、昨年度に比較して病気で欠席者が激減した。今後も連携をしていきたい。
池田中	- 教室日常点検は、生徒の委員会活動を中心に実施している。点検表には、生徒が点検して気づいたことを記入させ、こちらからもコメントを入れながら、教室環境の整備に努めている。 - 学校薬剤師との連携を大切にしている。気になることはすぐに確認し、指導助言をいただき、より良い環境づくりを目指している。	- 年間を通して、定期検査のすべての項目と日常点検を実施することができた。定期検査については、学校薬剤師と連携して丁寧に実施することができた。 - 教室内のCO2検査は、年3回実施し、特に冬の寒い時期には感染症予防の観点からも換気の徹底を目指してきた。 - 現在、校内の老朽化による危険箇所もあるため、安全点検で確実に確認を行い、改善に努めていく。

